

## 田島中学校区 学校適正配置検討会議（第7回） 会議録

1 日 時 令和3年6月21日（月） 午後7時から

2 場 所 田島小学校 多目的室

3 出席者

（委員）

東 智則委員、大倉 裕子委員、荻田 真司委員、鍾田 昭子委員、亀井 孝美委員、  
北山 泰利委員、福田 成隆委員、船井 静香委員、光山 政浩委員

（学校）

塩見 貴志（田島中学校長）、佐野 仁志（田島小学校長）、木村 幹彦（生野南小学校  
長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育  
担当部長）、上原 進（学校環境整備担当部長兼生野区役所こども未来担当部長）、花月  
良祐（総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総  
務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、大川 博史（地域活性化担当課長  
兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配  
置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、二川 康裕

（総務部施設整備課老朽対策担当課長代理）、川楠 政宏（地域活性化担当課長代理兼教  
育委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、坂井 大輔（学事課担当係  
長）、竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育  
政策課担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総  
務部教育政策課係員）、渡辺 久志（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局  
総務部教育政策課係員）

（傍聴）0名

4 議題

- （1）校章について
- （2）校歌について
- （3）その他

5 議事要旨

【座長の交代について】

・座長の委員解囑に伴い、新たな座長を委員の中から推薦する必要があり、学校再編の当

- 初から会議等に参画いただいている委員を事務局より推薦する。
- ・各委員より異議なしのため、当該委員を座長とする。

#### 【校章について】

##### (1) 行政からの説明

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(議事資料に沿って説明)

- ・本日は応募いただいた児童生徒からのデザイン案を行政、学校からの案とともに、児童生徒にアンケートするために、5つ程度の校章案に絞り込んでいただきたい。
- ・校章案候補の絞り込みを終えた後に、校章案候補を学校で清書をしていただいた上で、7月に児童生徒向けにアンケートを行っていく。
- ・アンケートを集約後、8月の検討会議において、アンケート結果を参考に校章案の選定に向けて意見交換を行った上、校章を決定していく。

##### (2) ご意見等の概要

(委員)

- ・事務局の方に確認いたしますが、色々とデザイン上がっているんですけども、この別紙1から2つてA4の範囲の部分が委員から投票というか、事前アンケートいただいたものでよろしかったですかね。推薦されたものとかあると。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・委員の方から推薦いただいたやつが参考資料1ですね。で、別紙1-1は児童生徒の方からいただいた案。それから別紙1-2が学校の先生の案でデザインしていただいた案。それから資料3が行政の方からの案ということでございます。

(委員)

- ・あと、もう1つ事前の確認なんですけれども、スケジュール的に決定までのスケジュールというのはどんな感じでしょうか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・3枚目の議事資料1の田島南小学校校章案についてというようなものは裏面の方にですね、今後のスケジュールについてというのを入れておきまして、本日が校章案の複数候補から意見交換を行い、児童生徒のアンケートに向けた絞り込みを行う。それから6月中に校章案候補を必要に応じて学校の方で清書をする。それから7月上旬から中旬にかけて清書をした校章案候補によりまして、学校において児童生徒を対象にアンケートを行う。そして7月下旬に学校からアンケート用紙を回収しまして、8月中旬にアンケート結果を参考に、校章案選定に向けて意見交換を行って、校章を決

定するということになっております。

- ・それから参考資料、参考の3として掲載している部分がございます。それにつきましては児童生徒に対しての校章のアンケートの用紙を考えていってますので、それを使ってアンケートしようかなというふうに思っております。

(委員)

- ・とするとあと、半月くらいで、この校章の案の方が完成したアンケートを出したいという感じなんですね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、はい。

(委員)

- ・それではもうあらかたここで方向性を決めていかないといけないんですけども、また自由に色々意見を言ってくださったらと思うんですけども、

(委員)

- ・確認なんですけども、中学校の方の校章は変わらない、でよかったんでしょうか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい、小学校の校章ということになりますので、中学校は、変わりはないと。

(委員)

- ・解りました。

(委員)

- ・さっきの学校案の116番推しなんですけど、116番が1番、理由はあんまりなんですけど綺麗で、花が外向してるのもバランスがいいし、色合いもちょうどよくて、綺麗な感じでええかなと。私はこれを1番に推させていただきます、はい。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。これは結構インスピレーションなので。

- ・はい、どうぞ

(委員)

- ・これ票数、3， 3， 3， というのはなんの。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・委員の皆さんに事前アンケートをさせてもらって、これ推しですっていただいているのを1票と数えて、で、4番のやつは3票。3名の方が推してる。で、98番も3名の方が。で、116番の方も3名の方が。ということでこの斜文字でアンダーライン引いている数字が票数になっておりまして、多い順で並ばせてもらってます。

(委員)

・了解です。もう推しで決めてもええんちゃう。

・ねえ 皆さんも推しで。

(委員)

・はい、そうですね。それでもお時間色々いただきたいと。はい、どうぞ。

(委員)

・えっと3校の校章を色々考えたものの中からだったら、できたら子どもの考えた、よく似てるんですけど、子どもの考えた奴の方から合わせたらいいかなあというところが、同じような感じなんですけど。いいなっていうところとその校章を色々組合わせたものと、そうじゃない、全く校章を、前の校章を使ってないものも挙げて、候補は両方あるといいかなあって思ったりしています。

・私1つはナンバー4のアジサイモチーフの、私1個入れたんですけど。これはなんか小学校の小にするか、南ってするとまた南っていうところもあれなので、そこは変えてもらったらいいかなって思った事。74番のオリーブをもじったものと、98番に鳩があるじゃないですか。私はその2つを真ん中に鳩を飛ばして真ん中オリーブとかで、組み合わせたようなのをデザインしてもらってもいいかなあと思って、2つドッキングしてどうかなと思って一個言いました。

・それと82番って鳩みたい。それどんな感じで、82番はどんなイメージで訴えたのかなと思って、ずっと不思議に思ってた、凄く印象に残ってました。どんな意図があったのかなと思って。見たかったなと思ったんですけど。いいなあと思いました。

(委員)

・ごめんなさい。ちょっと恥ずかしいですけど、82番僕が書いてしまいました。

・で、この1と書いてあるのも私の自主投票でございましてもうこのまま黙ってしようかなと思ってたんですが、

(委員)

・凄い印象に残ってた、聞きたかったんですよ。

(委員)

・はい、下は田です。後ろにある地帯は生駒山です。で、太陽、朝日です。そこに向かって南にはばたいてるっていうものです。

(委員)

・方角の南が。

(委員)

・方角の南です。生駒山と思ってください。で、南に向かって飛んでくぞ！フェニックスです。鳳凰ですね。

(委員)

・横から見て。

(委員)

・横から見てフェニックスです。

(委員)

・理由のところも無かったんで。

(委員)

・メールで送って、メールのテキスト文には書いてあったんですけども。昔の言葉で  
 函南の翼というふうな言葉があって、南へ行くっていうのは、大きな目標に向かって  
 はばたくという、そういう昔の言葉があるらしいので、それをイメージして描きまし  
 た。以上です。

・他ありませんか。

(委員)

・私も生野南小学校出身でございますので、これ投票者ですね。30 数名おられまして、  
 非常にばらけてるということなんですね。だから…私は学校案と行政案、事務局の方  
 から6つ出せということで、言われましてですね。学校案で3, 4, 8と。それと行  
 政案で3, 4, 5と。勿論、児童のやつも良かったんですけど、一生懸命描いていた  
 だいたと思うんですけど。非常にばらけてるというのが第一印象ですね。だから絞り  
 込むのは出来たら…子どもさんのやつもいいんですけど、学校案と行政案で票数の多  
 いのを6つくらい絞って、ここで絞っていただいて、そこから検討していただいたら  
 どうかなど。

・これ幅が広いんで中々前に進まないと思うので、できたらそうしていただいたら有難  
 いかなあというふうに思います。

(委員)

・ありがとうございます。他、ご意見ございませんでしょうか。

・ざっくり私が思ったのは学校のミックス系ですよ。要は小学区のミックス系と、  
 で、はばたき系ですね。鳥をモチーフにしたようなはばたき系と、あと、アジサイ系  
 ですね。植物で言うと先程のオリーブも含めてアジサイ、オリーブとかですね。

・そうしますとそうですね。大体そのようになってくるので、そういうふうな何か幅を  
 持たせるという意味で3つぐらいのそういうふうなのをかける2か3かぐらいになっ  
 てくると、6つ7つぐらいになるかもしれませんけど、そういうのをご提示してもい  
 いんじゃないかなっていうふうに思いました。

・皆さんいかがでしょうか。多くなったら困りますか？

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化  
 担当課長代理)

・アンケート用紙で、また生徒さんの方に聞くことになるので、6つ7つになっても、  
 特に問題はないかと思えます。

(委員)

・解りました。

- ・それではそうですね。小中、両小学校、それから中学校を合わせたというふうなところで、今、押し投票していただきました、ミックス系、116,117。実際には、これ117はあれか田島小学校。

(委員)

- ・これ田島入ってないですよ、両方とも。

(委員)

- ・両方入ってない。

(委員)

- ・申し訳ないです、ちょっと気になってて。
- ・中学校は入ってるんですけど、話が入ってないので、申し訳ないですけど、その2つには田島はなくなったやつなんですよ。入れるなら3つを入れるのか、小学校2つが入ってるのが、ええかなって思って。
- ・3つ入れれるものを候補に残すのか、小学校だけのものに絞るのか。
- ・1個、3つのやつ、後2つのやつって何個かするかもわからないんですけど、そこもどうするかもあって、後、入れるならバランス良く入ってる方がいいのかなあいう気はしています。消えちゃったやんってなってしまうかもしれないああって。

(委員)

- ・まあそうですね。入れるなら入れるで、小学校同士入れたいですね。で、中学校まで入れるかどうかですね。
- ・それじゃあ小学校同士をミックスしたようなものっていうのは、まずどれが一番オーソドックスなんでしょうかね。

(委員)

- ・127、126。

(委員)

- ・新しい学校なんで、校名がしっかりと書いてる奴の方がいいかなって。

(委員)

- ・76と105。

(委員)

- ・これ子どもの案であった場合は、またこれアンケートで子ども達に聞く時には、ちゃんとデザイン化されて、この見にくい子どもっていうか見づらいと言いますか、これは失くして同じような感じでデザイン化されて。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい、その予定をしております。

(委員)

- ・していただけるってことなんですね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・はい。

(委員)

・だから子どものそういう案も活かしつつ、デザインとして使えるものにちゃんとして子ども等の前には現れる。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・同じレベルにしないとやっぱりね。

(委員)

・それでは両小学校がミックスされたものは、もう1度言いますね。127ですね、前の方から行くと。話がありました127。それから126。それから76。それから105。この中で1つ2つに1度絞り込む作業をしてみまじょうか。どうしまじょう。なんか投票とかします？または推しの方が更なるプレゼンしてくださって、結構なんです。まずはミックス系ってことですよ。それではちょっとカウントしてもらおうとか、そんないけますかね。

(ホワイトボードを使用して挙手による絞り込み)

(委員)

・さて1人、とりあえず1挙手でもしますか。2挙手したいなとかございませぬか。1挙手で、はい。じゃあとりあえず、いいですか？皆さん。挙手ちょっと1度。はい、どうぞどうぞ。

(委員)

・僕の感覚ではなんですけども、ミックスもいいのですが、新しい学校になるのであれば、別段ミックスにしなくても全く違う形でもいいのかなと。なんかこの形でないとかかんというのがないのであれば、変わったのも面白いのかなと思って  
・例えば74番とか鳥の形のやつとかなんかはどこにもなさそうですし、例えば82番のやつに、プラスなんかするとか。何でもいいですけども、そういうふうこれを少し変えてとかできるのかなあと思ったりしました。

(委員)

・というのはまたミックス系というのは1つやっぱり、子どもも素直にミックスした案というのがあるんで、ミックスを1つ2つ絞り込んで、また新しいものを出していきたいと思しますので、仰ったような今のご意見で、またアイデアね、幅を広げていきたいと思しますので引き続きお願いします。  
・それではミックス系、両小学校のミックス系ということで、1人1挙手ということでお願いします。よろしいですか、皆さん。気持ちは固まりましたか。  
・それではまずは76番ですね。はい、76番推しの方。続いて105番ですね、105番、

大きな桜と中に小学校の菱（※）の花、桜に菱（※）の花。

- ・じゃあ2つ、はい。
- ・続いて126番。はい3。続いて127番。どれかな、え一つとこれか。はい、ほんなら127番書いときます。他ございませんでしょうかね。いやいや、これお忘れじゃございませんか、というのはございませんか。これは両小学校をミックスする案ですけどね。
- ・それじゃあまず、結果を書いてもらったんですけど76番消していただいて。まずはこの3つということで、まず置いておきますね。
- ・続きまして、中学校と小学校を、また中学校の派生形ですね。その中で推すべきというふうなものはございますでしょうか。

(委員)

- ・117番

(委員)

- ・116ですね。116。ちなみにその花は何なんでしょうね。126の真ん中に、このパッと咲いてる。

(委員)

- ・桜と菱（※）じゃないですか。
- ・だから多分、生南さんの桜と、田島の菱（※）に中学校の星やと思う。

(委員)

- ・分かった。こっち、右と左が添えてある。要は3校仲良くということですね。
- ・同じように114もそうですけど、これは何か彩り的に116の方が華やかな感じがするんでしょうかね。それじゃあ116も1つの案として、アンケートに諮ってみましょうか。
- ・それからはばたき系ですね。98、38、82。ここはまあさっきの福田委員のもうちょっと幅広く意見を、発言としたこのカタツムリとかね。はばたきではないんだけど。

(委員)

- ・あじさいは。

(委員)

- ・あじさい系ね。カタツムリはあじさい系というふうに考えようか。

(委員)

- ・4番。

(委員)

- ・4番そうですね。はばたき系で言ったら98と38と82ということで。これについて何かご意見あれば。選ぶとしたら1つ2つで。

(委員)

- ・こんなんはばたき系ですよ。オリーブ、お花系はちょっと待ってくださいね。98、

38、82。

- ・普通にインスピレーションで結構ですので、それでは1人1挙手をお願いします。
- ・38番が。お2人、はい。
- ・98番が。2人。
- ・で、82番が4。

(委員)

- ・それではどうしましょう。挙手の数が多いのが82と98になるんですけども。
- ・38と98を一緒にする。若しくはこの3つを一緒にするというのはいかがでしょうか。38と98って清書したらよう似たところに。

(委員)

- ・2案でええんちゃう。

(委員)

- ・1回2案にしましょうか。38と98を上手い事リライトしてくれたらと思うんですけど。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・98番は文字の方なんですけど、田に南に小となってまして、38番の方は田島南というふうになってるんで、そこだけ訂正させて頂きたい。

(委員)

- ・田島南の方がいいですよ。初っ端からね。略すっていうのはね。
- ・他もこれリライトするって言っても凄く、これでいいのかどうかっていうのは迷われると思いますんで、その時もしよろしければ、変な話、写メでも結構ですので皆さんにまた郵便でも送ってもらったら色々ご意見を出せると思いますんでね。1日2日くらいのことなので。それでもし何かちょっと幅が出るようだったらそれはそれで踏まえたらと思います。その時は皆さん色々ご意見してあげてください。
- ・それから次に、あじさいとかこういう植物、オーガニック系と言いましょうか。オリーブとそれからアジサイと、またそれに派生してカタツムリとございます。

(委員)

- ・74。

(委員)

- ・74ですね、オリーブ系は74。

(委員)

- ・ほんじゃ4番。

(委員)

- ・そうですね、4番がアジサイなんです。ここにカタツムリを乗せますか。

(委員)

- ・アジサイとオリーブやったらまあ。オリーブはね、平和みたいな感じが、生野区っていうことの意味合いでついてるならば、アジサイのモチーフがいいなって思うので。あと、南っていう字だけ書いてるのはちょっと。

(委員)

- ・そうですね、南って書いてあるのはこれはこれでね、あれなんですけれども。基本的にはこれも先程と同じ話で。初っ端から略すっていうのもどうかと思いますので。田島南という方でいいとは思いますが。
- ・校章の大きさを何かお考えのところありますか。まあ背中一面とかそんなんじゃないと思いますが。

(委員)

- ・ちっさいですよ。3センチくらい。結構。

(委員)

- ・それにここに田島南って書いてるから。

(委員)

- ・小中が3センチ4センチとして。

(委員)

- ・3文字ね。ちょっと厳しめかな。
- ・ちなみにこのあじさいをモチーフにしたいような小学校の校章っていうのは、やっぱり生野区には多いんですか？

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・私は知らないけれども、区の花を決めた時があって、決めたのは結構最近の話だったんで。

(委員)

- ・そうなんです。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・だから多分、学校の校章には使われてない。

(委員)

- ・なるほど。

(山口生野区長兼生野区担当教育次長)

- ・多分使ってる所は少ないんじゃないかと思う。またちゃんと調べておきます。

(委員)

- ・それじゃあこれはまたライトとしてはまたデザインの先生次第なんですけれども、何かアジサイをモチーフにした。で、またある程度文字が明解に見えるように、上手にレイアウトしてもらえたらと思うんですけどね。またご意見としてはもうちょっとラフがきらきらとしてるのがアジサイのイメージだとしたらね。
- ・はい、それではこのオーガニック系についてアジサイ、それからオリーブと。またそ

の派生形、カタツムリ等あるんですけれども、一つに絞り込みますか？それではまたご意見頂きたいので挙手だけお願いします。

- ・それじゃあこのデザインに関しては多少リライトあるということの前提で、アジサイをモチーフにしたものはいかがでしょうか？
- ・そうですね4票ですね。それからオリーブをモチーフにした74番 このひとつですね。カタツムリ、まあこれかわいいんですけれども今回は、保留しましょうか。それではオーガニック系。
- ・すいません、先輩申し訳ないんですけれどもアジサイの方でまとめさせてもらっても良いですか？

(委員)

- ・結構です。

(委員)

- ・それではアジサイの方を上手にデザインしてもらったと思います。
- ・さてここで7案まで絞れましたけど、いかがでしょうか。さて5案まで絞り込んでくださいということでしたが7案でいかがでしょうか。事務局。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・特にあの一、必ず5案ということではないので7案でアンケートさしてもらうことは可能です。とくに支障はございません。

(委員)

- ・それじゃあこれでアンケートとりましょうか。皆さん他ご意見あれば今のうちと思います。
- ・それではこれで一度、事務局の方にお渡ししますけれども、まあ先ほどお伝えしたように多分これリライトしていくとちょっと幅広くな、迷われる所も出てくるアイデアも幅広く出ちゃうと思いますんで、それに対してはもしよろしければ、みなさんご意見出してもらえたらと思いますので。

(委員)

- ・それとこれ、アンケートで聞くときは結構理由書きますよね。学校、行政案とかのやつはあんまり書いてなかったりしてたかもわかんないですけど、これはなにとなにとなにをもじったものですか、結構、子どもらがみてあーそういう意味合いのものなんだなというのが、ちょっと直しが入るものもあるんですけど、そういうのがきっちり入っているとそこも読んで子ども達また考えたりすると思いますので、理由みたいな方をきっちり書いてもらえたらなーって3校のやつも3校が入ってますとか、はい。

(委員)

- ・そうですね。理由必要ですね。メッセージも込めてアンケートにしてもらえたらと思

いますので、また行政案も含めて、デザインの理由記入をお願いします。これを7月ぐらいにですね、7月早々に配布してっていうことですので、この1、2週間でこれをまとめていただくことになるんですけども。よろしくをお願いします。

(委員)

・他いいですか？

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・確認なんですけどね。4番の方で一文字の分を字の方ですね、これまあ3文字にするような形とかですね、考えるということなんですけど、同じような形なってるのが105番の分が同じように一文字で小とだけ入ってるんです。これも同じようにした方がいいのでしょうか。

(委員)

・なるほど105候補に入ってますね。これそもそも田島小学校のまあそのままほりこんだものだと思うんです。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・そうですね。

(委員)

・ですので、このマークそのものが田島小ということなんですけど

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・それじゃあこちらの第105番はこのままのみで、リライトするような形ということでよろしいですか。

(委員)

・そうですね、合体させたということで。

・これ桜の所が生野南のね、ひとつの特徴ですので。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・わかりました。

・それじゃあリライトするのが、校章ミックスのバージョンで言いますと105番、それからはばたきの方は38と98を一つにとかそれを参考にリライトする、それから82番もリライトする、それから4番のこのアジサイの方もリライトするということでよろしいでしょうかね。

(委員)

・はい、お願いします。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化

担当課長代理)

- ・あと一応、今回は小学校の校章を決めるということに、アンケートしていくっていうことになるんですけど、一応あの応募の方もしていただいている関係で児童生徒さんということで中学生の方の方にもアンケートをさしてもらおうということで念のため確認さしてもらいますが、それでよろしいでしょうか。

(委員)

- ・よろしいですかね、田島中学校いいですかね？はい、それでお願いします。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい、わかりました。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・それでは今後アンケート用に校章案の方を清書しまして児童生徒に対するアンケート案が出来ましたら各委員の方々に送付の方させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします

## 【校歌について】

(1) 行政からの説明

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(議事資料に沿って説明)

- ・第5回検討会議において、小学校と中学校の校歌を分けて新たに田島南小学校の歌詞を公募して大阪市教員に作曲の方を依頼するパターン1と、田島中学校の校歌を活用して校名の変更等を行うパターン2の進め方について提案したところ、中学校の校歌を聞いてそれを進め方の判断材料にしたいという意見があった。
- ・田島中学校の校歌の由来等を参考資料4の通り作成しているので、説明するとともに校歌を聞いていただく。

(説明者：塩見田島中学校長)

(参考資料4に沿って説明)

- ・作詞者について有名なところでは野崎参りの歌を作られた方で昭和歌壇の重鎮とされており、かなりの人物であるということがわかった。
- ・作曲者について、市歌とそれから高等学校中心にいくつかの学校の作曲をされてたということがわかった。
- ・田島中学校校歌の歌詞は地元のことを汲んで作成されていると考えられる。歌詞の意味はそういった行間の思いを補って作成した。

<校歌を流す>

(ご意見等の概要)

(委員)

- ・ 田島中学校の校歌を使って小学生がこれを歌うと。いい曲だからということなんですけれども、実際こう歌うとしたらね、小学生にとって、この歌いやすさとかメッセージの使われやすさとかその辺はいかがでしょうか。

(木村生野南小学校長)

- ・ やっぱりちょっと難しいかなっていう。
- ・ 今、それを考えてる時に言われてわからない。ちょっとこう変換してたんですけど、やっぱこのままやとこう言い回しとかその河内平野とかってなると、もう全然意味が河内平野というのも、もう使わないし、どうなんでしょうね。例えばいろいろあると思うんですけど小学生向けの歌詞作るかなにかっていうのはあるんかなっていう、ただそのこれ中学校って書いてないんで、正しきわれらの学園なんで、そこはもう別に使えるんかなっていう気はするんですけど、やっぱり小学校一年生見てることを考えるとあまりにも意味がわからない言葉が続くかな。このまま小学一年生にこれ校歌やでっていうのはしんどいかなって思うんですけど。

(佐野田島小学校長)

- ・ 低学年やと丸暗記させたら何とか歌うとは思いますが言葉の意味も分からずって感じで、キーはまあ歌えるのかなと思ったんですけどやっぱり木村校長先生今言いはったようにその言葉の意味はかなり難しいかという風には思う。

(木村生野南小学校長)

- ・ 例えばですけど、もう曲これせつかくやから使うのと詞もこれの意味を小学生でもわかるような意味にするっていうのは可能かなと思って、僕2番のレンズ産業ひらきたるところのくだりがね、もう教頭やとったときからちょいちょい生徒にも言ってこれすごいことやぞって言ってたんです。日本の眼鏡レンズの半分以上を作って、その昔ここにおった人らがやっぱそういうことやりだしたっていうのはもう永遠に残してほしいと思うので、すいません話長くなって。

(委員)

- ・ この間、入学式があつて改めて小学校の田島小学校の校歌を聞いたんですけど、やっぱりわかりやすく、歌いやすく幼稚園から上がった子たちもやっぱり馴染みやすいなっていうのは、改めて感じたんです。なので前校長先生等、この間の校歌の話があつた後でも話したりして小学校の役員で話した分では小学校は小学校向けのやっぱり馴染みやすいものを、その例えば行事などで歌う時にはそれがあつたらいいし、それと小中一貫校としてはその中をベースにしてそれは一緒に歌う場面では覚えてたらいいなって、だけど普段の運動会だったり始業式かな、そういうときは小は小のそういう歌いやすい馴染みやすいものがあつたらいいんじゃないかなって、中は中で小中一貫校の歌として歌詞をどう変えるとかそんなんはわからないし、そのわれらの学園

の部分だったら別に みんなの学園でいいし、変えるかどうかわからないですけども、中の歌は中の歌でみんなのうたとして、それを提出したらどうかなっていう意見は言っていました。あの歌いやすきでいうとたぶん曲調であったりそういう部分も長さもそうなんですけどちょっと難しいのかなというところはあるけれども、馴染みやすい歌とともにそっちもあってもいいのかなっていうような意見で思っていました。田島小学校について。

(委員)

- ・私、前回の会議でも小中一貫だからもう一個でいいかなと、まあそれも今もそう思ってるんですけども今、校歌聞いてやっぱり小学生には難しいかな。ほんで、小学生は小学生にわかりやすい歌があったほうがいいのかなーと今ちょっと迷いというかなんというかそういう気持ちですね。だから田島中の歌はそれでみんなで歌えるように練習なりなんかの時に歌えるようにしといて、小学校の歌は小学校の歌で新たに作ってもいいのかなという気もはい、こんな感じです。

(委員)

- ・ありがとうございます。他いかがでしょうか。

(委員)

- ・その中学校の今風にしたやつは多分間延びして全く違う歌になってしまうやろなって、歌ってみたら。

(塩見田島中学校長)

- ・これは歌詞じゃなくて意味だけです。歌詞とかにはめるというのは一切考慮せずに、はい。

(委員)

- ・ただ小学校でも今、大阪市歌とか歌ってるんで、多分ほとんど意味わかってなく歌ってると思います。別に中学校のでもいいかなって、僕は思うんですけどもどうでしょうか。

(委員)

- ・僕は小学校も中学校も校歌一緒の方がいいかなという考えなので、このこう訳してくれてる分あるじゃないですか、校長先生のほうは今の中学校の校歌をそれをベースにこう、うまいこと短めというか、にできればいいかなと。するとさっきも木村校長先生がおっしゃってたようにそのレンズ産業っていう部分っていうのは、やっぱり残してほしいかなとも思ったりはしたので、今のこのわかりやすくした文をより短くできて、リズムは同じやったらまあまあいいのかなと思いましたけどね。まあまあ難しいことではあるんでしょうが、そのへんはね、出来るでしょ。僕がやるわけではないんですけども、

(委員)

- ・ありがとうございます。

(委員)

- ・僕は一曲の方がええような気がしますよね。せっかく小中一貫なんで中学校も一緒に、そのあれをまた音源変えてね、わかりやすくやれというのは無理なんでなんかそれをベースにした、新しい校歌を作るとかっていうのも小学生向けよりになっちゃうんですけどねえ、2つ。

(委員)

- ・中は中でなくなるってことですか？

(委員)

- ・中は中であれをベースにして変えてもらうんじゃ無理かな。中学校の生徒は多分対応できると思うんですけど。小学校の子の方が、問題があるかなと。
- ・ただ校歌2つっていうのはちょっとね、その時々2つ覚えろいうのはちょっと。例えばうちの小っちゃい子だったら無理ちゃうかなとか思ったりもしますね。どっちがどっちやねんみたいながあるので、校歌は1個の方がベストかなとは思ったりするんですけど。

(委員)

- ・中は中のが、消えてしまうっていうのはなんか。

(委員)

- ・ちょっとアレンジするっていうのはね。あの文面は残してできれば仰ったように生駒山脈とか。

(委員)

- ・でもきっと完成系なんかはああなる。あれでもう全ていいんじゃないかなと私は思うんです。

(委員)

- ・後は区役所の方にお任せします。

(委員)

- ・ありがとうございます。はい、お願いします。

(委員)

- ・私はやっぱり小学校は小学校の校歌があった方がいいと思うんです。
- ・何故かと言うとですね。6年間勉強してですね、やっと中学なつたと。また中学の新しい校歌。また覚えるということの気が非常にいいんじゃないかなというふうに思います。
- ・それから先程からレンズの話がよく出てくるんですけど。今、田島で痕跡残っているのは田島神社に組合の碑があるんですね。組合も今は解散してるんです。だからほとんどもう痕跡としては田島神社の痕跡しかないんで、レンズはレンズでもですね、違う意味の光とかそういう形の、文言があったらいいかなと思う。レンズのままじゃなくて光とか、そういうレンズに関わるような文言がいいかなっていうふうに私は思い

ます。

(委員)

- ・他にないでしょうか。皆さん結構ご意見いただきましたね。

(委員)

- ・私の所に中学生2年生の子と小学3年生がいてるんですけど、一遍、歌わしてみたいんです。中学校の子の歌聴いてみて言って。で、上の子が歌うのを聴いて「難しい分からん」言うたのが子どもの正直な意見なのかなって思うので、やっぱり子どもって6年間の、中学校のこと申し訳ないんですけど。私自分の中学校の校歌思い出せないんです。小学校の校歌は未だに歌えるんですけど、やっぱり小学校の校歌って6年間って、凄い長い間、歌うし馴染みのあるものであってほしいなっていう親の意見もあって、難しすぎるのはやっぱり子どもっぽくないというか。で、小学校と中学校の区切りっていうんですかね。大人になってこの難しい歌詞も歌えるんだよ、僕ら私達みたいな、そういうのもあっていいんじゃないかなと私は思います。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。多種多様ご意見いただきありがとうございます。凄く参考になります。そうですね、私、皆さんの意見を参考にと思ったんですけども。右に左に揺れるような言い方して申し訳ないんですけども、確かに子どもにとったら中々分かりにくくてレンズ産業を開いたっていうの。これ中々すぐに馴染めていくの難しいんですけども。こうやって現代語訳していただいて、塩見校長先生やったださって、「そうかそうか」と思い出しながら繁栄していた、あの時の人のこの意思をという事なんだなっていうふうに、改めてこの現代語訳を聞いてると。それを聞いて、この歌をもう一度聞くとね、中々いい歌だなとは思いました。
- ・ただ馴染みやすさとかね、そういったところの文言。確かに馴染みにくさはあるんですけども、ただ例えば小学生でもはっきり言って、百人一首ホイホイ覚えますんでね。多分中身分からずとも覚えてたりしますんでね。また私の小学校の校歌も凄く難しい校歌だったなっていうふうに思うんですけども。それをそのメッセージをきっちり伝えるのも1つ大切な事ではあるんですが、馴染みやすさっていうのも1つ確かにご指摘の通りかなとも思いました。
- ・その中でこれ2番。1番2番とあるんですけども、例えばここに小学校用の歌詞を1番2番の間に2番で入れて作ってみると、で、3番がレンズ産業。で、4番でそのサビをくどいぐらいもう一度歌うというふうにすると例えば小中学生が一緒になって、歌うとしたら1、2、3でまたサビの繰り返しで4で終わるというふうな流れであってもいいかなと。でも小学生の例えばイベントだけの時はこの2番と4番で終わりと。例えば別に2番でなくてもいいと思いますし。現、田島小学校の校歌も確か3番まであって、3番目の曲調が突然変わるという珍しい曲調なんですけども。そうやって3番また3.5番まで作ってなにか小中が一緒に歌える時もあれば中学生がそのま

ま歌える時もあるし、小学生単独で歌う時もあるしと。そういうのってどうかなって今皆さんの意見聞くとおもう。はい、長くなりましたがどうでしょうそういうふうな。これを要はベースとして小学校中学校そういう運動した校歌とするなれば、そういうのも1つかなとおもうんですけど、ご意見あるかとおもう。どうぞ。

(委員)

- ・半分わかって半分わかってないんですけど、じゃあその分かりやすい歌詞のものを挟むところは作る。

(委員)

- ・それは作る。

(委員)

- ・曲は一緒に。

(委員)

- ・曲は一緒に。

(委員)

- ・分かりやすい歌詞のを挟む。

(委員)

- ・挟む。で、そこは田島南。田島、田島ってなってますけども、その分、田島南っていうふうに入れてもいいでしょうし。

(委員)

- ・歌詞だけが新しく考える部分を公募なのか分かんないんですけど。

(委員)

- ・ですね。です。で中学校、この小学校中学校でみんな小中っていうふうな。

- ・校長先生、皆さん長いですか、これは。

(木村生野南小学校長)

- ・ぼくは良いとおもう。その学校の運用で例えば中学生だけの時は1番と3番。今まで通り歌えばいいし、で小学生だけの時は3番と4番。で例えば全体の行事の時は1番と2番だけでもいいですね。全部4までいったら長いので、例えばですけど、だから。

(委員)

- ・全体集まって、何かやる時はあるんですかね。

(木村生野南小学校長)

- ・そうですね、でも実際に学校始まったら今は想定してないんですけど。ただちょっとしたことでも何かこれ一緒に集まってやろかっていう時にじゃあ最初に1番と2番で中学生と小学生、歌おうかっていう事もあり得るんじゃないかなっていう。
- ・僕が言いたかったのは4番まであっても必ず毎回4番まで歌わんでも。そういう1番だけ歌うとかいうような使い方もできますよっていう話です。

(委員)

- ・まあ現場サイドで、どんだけでも量にできるかなっていうことで

(委員)

- ・これはいつまでに決定しないといけないのか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・今回パターン1、2でスケジュール的なものを出させてもらってるんですが、それに当てはまらない部分で、歌詞を色々作らなあかんっていう作業が出てくるんですけどね、それでいくと。どちらかという曲はそのままっていうことなので。新たな歌詞を作るっていうことであってそのパターン2に近い部分で、あと歌詞改めて作るので、時間がかかるのかなというふうに思うんですけど。
- ・それでいってもパターン2でも校歌決定11月ぐらいになってくるのでね。あんまり余裕がないんです。で方向性ができれば、決めていただけるのがいいのはいいですよ

(委員)

- ・はい、どうぞ。

(委員)

- ・小学生には難しいって話になったじゃないですか。でも1、2、3、4って結局覚えなないといけないと思うんですよ、小学生が。そのままそれを覚えたら結局意味は子どもには分かりにくいかもしれないけど。覚えるのが一緒なら数が増えるようにそれを覚えてもらわないと、いいのかな。
- ・それとも私はどちらかという、小学校は小学校の校歌。中学校は中学校の校歌の方が思い入れがあっていいのかなって思うような意見でなんか混合しちゃうとどうなのかなと思います。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございます。
- ・そうですね、あまり長いと覚えるっていうのはね大変なんですけれども、小学生は小学生用の歌詞があってもいいかなっていうことですね。同じ曲でもね。で、それをなにか1年生から9年生までとか、そういうイベントが、もしあるとしたらね。中学生の次はその番によって、中学、小学、中学、皆とかねそういうふうな合唱にもなればなと思ったんですけどね。小学生が全部覚えるというわけではないです。

(木村生野南小学校長)

- ・また運用の話になるんですけどね。心配してはるけど、さっきの小学生用の歌詞が2番と4番で出来たら、小学校、日常2と4しか歌わないですよ、基本的に。覚えろとも言わないと思いますよ。意味が分からへんから。だから歌う機会もそんなにないの

普段はやっててもいいぐらいのかんじ。

- ・ もっと言うたらそれが違う曲ののもあってもいいぐらいですよ。意味分かります。せっかくこんな言ったら怒られるかも分らんけど。せっかく曲も作ってくれるって言うてるから。どっちでも歌える詞で小学生が歌える詞を1番2番作っとけば、小学校の時はその小学校の曲で小学校の歌詞歌うけど。同じ歌詞をこの曲でも歌えるようにして運用するっていうのは。

(委員)

- ・ 小学生が例えば1、2、3番4番になったとしてもですよ。一緒になった時にこの歌詞で歌う場面が小学生があるんかないんかで、結局1から4まで覚えるには覚えていっつも使うのはこれってなるけれどもっていうボリュームが増える話と。

(木村生野南小学校長)

- ・ 僕この話聞いた時に小学生は基本歌わないっていう想定なんですよ。行事で一緒に歌う時に結局この小学生と中学生が一堂に会した時に、例えばたぶん小学生から歌ったほうがいいと思うから、小学生がまず2番を歌うじゃないですか。この曲でね、小学生がまず歌う。その後中学生が歌う。とかね、その4番をみんなで歌うとかね。だから結局小学生がこれを歌わないんですよ、難しいから歌う機会もそんなにないのですね、でも同じ曲で小学校の時から中学生もおる時にはこうね、歌ってたら曲はこうね身につくからっていう。なんか学校できた時にどうやって歌わすかばっかり先に頭がいつてしまって、そんなイメージです。

(委員)

- ・ 校長先生に聞きたいんですけど、この歌詞って子どもら覚えられないですか？っていうのは、子どもって言葉で覚えるんじゃなくて音で覚えるわけじゃないですか。だから言うたら子どもが英語の曲覚えるとか事もできるけどじゃあその意味分かって覚えるのかいな、で例えば難しい歌でも子どもらって歌ってるわけじゃないですか。でもそれ全部の意味把握して歌っているかって言われたらまあ子どもだけじゃなく大人も意味分かって歌ってるかって言われたら、歌ってなさそうだし子どもが難しいから作るっていうのは違うのかな。覚え慣れないからとかっていうのやったらなんかおかしいかなっていうのも言いたしてきましてね、なんか覚えて歌う事が一つ大事な事やったら別にこれでも、このまんまで田島、田島南を付け加えて変えるだけでいいような気はするんですね。それが9年目にはしっかり歌えるという意味合いであれば、これも筋通るのかなと。色々意見があった中でこんなこと言うたらあれなんですけどもこのままでいいんじゃないかなってふと思いつてしまいました。

(委員)

- ・ その感じで言うと、そりゃ子どもらは意味なんて意味は1回説明を受けるとしても、その大阪市歌の話あったように音でも覚えるだろうしってところはそうなんですけど、正に言葉だけじゃなくてこのメロディーの短調、なんていうんですかね、ほんとに子

どもに馴染みやすい小学校の校歌ってほんとに分かりやすく入学式に聞いて正に小学生が、これを僕も私も明るく育つっていう、そのほんとに私は曲調もすごくやっぱり分かりやすく子どもたちが馴染んで歌うものなんだなって改めて入学式で聞いて、こんな感じだといいなってやっぱり思ったんです。

- ・でも中のはまず長さが違うし曲のリズムもやっぱり違うし、それを覚えるとはいえば意味なんて分からなくても覚えるんですけど、子どもらしくあるっていう部分を込めて 小は小のものであったらいいかなという気持ちでいました。それをこう混ぜるか混ぜないかですね。
- ・中の曲でまた小にあったものにするのか、1個にするのかですね。だからどっちでもいい気がしてきます

(委員)

- ・ありがとうございます。それではこのスケジュール見てみましたらね、これは歌詞から決める方が基本的には設定しやすいんですかね。
- ・これ一度、歌詞の方向性も含めてなにか小学生向けの歌詞みたいなものを作ってもらってできますか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・パターン1で行くと歌詞をとという事にはなるんですが、一般公募するのもしくは別途に依頼するのかがどうかはあるのはあるんですけど。

(委員)

- ・パターン1にしろ2にしろ、どうも歌詞の方を先に作るみたいなので、変更するにしろね、例えば小学生向けの歌詞をこの曲調はまずは良し悪しもあるんですけどもまず歌詞を作ってもらってそれで判断するっていうのはどうでしょう？
- ・曲をのせてもしくはそこから歌詞の方向性を決めて新しい歌を作るとか。
- ・恐らくね、この歌詞がいい歌詞なんですけれどもも言ってみたら小学生向けのそういうふうな歌詞があってもいいじゃないかっていうのは、それなりに多くありますんでね、今の歌詞に追加なのか挟み込むのか変更になるのか今のところイメージができませんけれども、まず1つの歌詞ここの小学生に相応しいような、歌詞を作っていたらこの曲にのせてみると、とすると1、2、3になるんですけども。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・どんなふうにしたらできるか検討させてほしいです。

(委員)

- ・私一方的に話してしまったんですけども、小学生に合うような歌詞をここで作ってもらうっていうのはどうかなって思いまして。これを変える抜くとかそういう事じゃなくて。

- ・あとそれから気になってるんですけど、校名にしろ、校章にしろ、校歌にしろ全部ほんとは一体であってほしいんですよ。ほんとはね。考えてみたら、こっちで例えば鳥が羽ばたいとってこっちではなにか花咲く学園とか言うたら、ちぐはぐ感あるもので、校章を決める過程の中で歌詞も生まれていっても悪くないかなって思いますね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・前回でしたか。第5回の時に入れたいフレーズっていうのを考えていただけたらっていう、お話もあったかと思うんです。

(委員)

- ・そしたらパターン1の方でいくとした場合ですかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・パターン1は公募なんで公募じゃなくっていただいたイメージ。歌詞を構成していくっていうんですかね。フレーズを活かして歌詞を考えるっていうんですかね。こちらどうかなって思ったんですけどね。

(委員)

- ・それをそのままお借りすると一度宿題として皆さんフレーズを一度考えてきてもらうっていうのはいかがでしょうか。公募するのも一つなんですけど。ある程度やっぱりね、方向性ない事に方向性も校章と連動した方がいいなと思うんですけれども、こういう気持ち思いを子どもらに歌ってほしいっていうのがあればそれは決して歌詞じゃなくてもいいんですけどね。

- ・さあどうでしょう。フレーズ、今日じゃなくていいですよ。ここで決めるっていうのはちょっとここで出すっていうのはどうかと思うので。

(委員)

- ・それは小学校の校歌は何作るための。

(委員)

- ・そうですね、歌詞を。

(委員)

- ・小学校用の校歌を。

(委員)

- ・歌詞。

(委員)

- ・歌詞をフレーズ考えて。

(委員)

- ・ただどの曲にのせるか新たな曲にのせるのか、中学校の曲にのせるのかっていうのは

その判断は後でいいかなと思うんですけどね。実際に小学生に歌ってほしいんですよ。

(委員)

- ・でも生野南小学校の校歌も田島小学校の校歌もなくなってしまう。ほんならせめて田島の校歌だけでも残してもらえたらなって。卒業生の立場としては。学校へ来て、長い事携わっていると小学校や中学校の時あんまり歌を覚えてなかったのが今だったら沢山覚えてますし田島小学校の歌まで覚えてしまいました。ただ、残してもらえたらなって僕の気持ち。

(委員)

- ・私は中は中で凄いいと思いますし、学年が上がってまた中のちゃんと覚えるだろうしってところも含めてこれはこれで素晴らしいんじゃないかなと。

(委員)

- ・ただ僕は歌は好きですけども、詞の内容まで考えて歌ったことがないんで。

(委員)

- ・ありがとうございます。それじゃあ基本的には中学校の校歌を小学校と合わせて一つにして無くすっていうのはやめましょう。で、この中学校のメロディーにのせるのか、新たなメロディーにのせるのかっていうふうなところを議論していきましょう。
- ・で、皆さんにフレーズをね、考えてきてほしいなと思います。それぞれ田島小、生野南小それぞれのなにかをね、持ってきても結構ですし新たな学校へのメッセージを込めていただいても結構なので、それに投げかけてみて事務局の方でそういうふうな先生とかに考えていただいてひとつのたたき案ができたらと思います。で、その中でメロディーにのせるのか新たなメロディーにするのかっていう議論させてください。それでよろしければ。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・分かりました。フレーズはできれば早めにいただける方が。次の検討会議でいただいていると、この時間が非常にタイトになってきているので。

(委員)

- ・はい、それでは皆さんラインとかメールとかまたお手紙とかハガキとかでも結構です。
- ・大体、日をいつぐらいにいつまでにしましょう。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・できましたら10日ぐらい。10日というのは厳しいですか。

(委員)

- ・10日間ですかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・ 10 日間。

(委員)

・ 10 日間ということは、今が6月の21日なので月末ですね。でも、この言葉って皆さん普段からお使いなんでね、10日もあれば、デザインじゃないんで、出せると思います。フレーズでいい。ワンセンテンスでも結構なんで、ちょっと出して。集計というかお送りする方法はまた打ち合わせするにしろ。簡単な記入用紙さえあればすぐ書きますんで、お願いします。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

・ はい、分かりました。

(委員)

・ それは、小学生の歌という感じで考えるんですよね。

(委員)

・ そうですね。これは小学生向けで考えていただけたらと思います。

#### 【報告 第3回環境等専門部会について】

##### (1) 行政からの説明

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(報告資料1に沿って説明)

- ・ 6月15日の第3回の学校環境等専門部会において、田島中学校の見学を行った。
- ・ 見学でいただいたご意見等については、次回の学校環境等専門部会において意見交換を行う。

##### (2) ご意見等の概要

(特に意見等なし)

#### 【報告 標準服等製造・販売事業者選定に向けた進め方について】

##### (1) 行政からの説明

(説明者：三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

(報告資料2に沿って説明)

- ・ 5月下旬に第6回検討会議を書面で開催させていただき、新たな小学校の標準服等の仕様を決定した。
- ・ それを受け、6月8日に標準服等の製造販売に係る事業者募集説明会のほうを開催し

た。今後、7月8日に事業者からプレゼンテーションを受けた上で、田島小学校及び生野南小学校で見本品を展示し、アンケートを実施する予定。

- ・ 第5回の検討会議の際にご意見をいただきました中学生への標準服の貸与について、過去事例等を調査するとともに内部のほうで検討を進めてまいりました。
- ・ 標準服につきましては、原則保護者負担となっているところですが、学校再編整備により生じる新たな物品は教育委員会のほうが用意して、保護者の方に過度の負担をかけないように配慮するということが本市の方針としております。
- ・ 中学生につきましては、過去の事例を見ましても小中一貫校の開校時において中学生の標準服を貸与している事例のほうはございませんでした。それから、小中一貫校開校時に中学校の標準服を変更している事例は2例ございましたが、これらの学校については教育委員会からの標準服の貸与は行っておりません。学年進行に合わせて新入生から順次標準服のほうを変更しております。
- ・ ご要望の趣旨であります現在の校舎建設工事に対します中学生生徒への配慮につきましては、校長と協議、了解の上、例えば、よりよい教育環境を充実するための教材の購入とか、教育環境の改善、整備を実施するなど、現在、在籍してます中学生、とりわけ来年3月に卒業する中学3年生も含めまして、よりよい教育環境を少しでも実感していただけるような方策を速やかに実施していこうというふうに考えておりますので、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

## (2) ご意見等の概要

### (委員)

- ・ さっきから工事の配慮みたいなので中学生にもってという話はありませんでしたが、それはもちろんかわいそうな思いしてるのでってことも言いましたけれども、それではなくて、ここが、これが小中一貫校になるっていう流れの中での中学校の制服の変更っていう流れがあったってことじゃないかなって、一番の意味づけといたしましては。小学生もブレザーで考えて、ブレザーになっていくような流れがあるので、中学生もそれに合わせて、見直しのいいときであるってことも含めて小中同じ流れのようなものを作っていくって意味合いとして意味があると思って考えられたことだったのかなって思えば、やっぱり、ただ小中一貫校になるんだってことを考えていただけたらなということだと思っていました。それなら意味がある。同じ一つの学校になっていく。関係あるときは小同士のただの統合ですってことをおっしゃるし、あるときは小中一貫校だってことを。両方のほんとに意味をいつも使い分けはるんですけど、ここは施設一体型である、一つは1から9年生までの学校になる。そういうふうに、私たちが決めたわけじゃないですけども、じゃあ一緒になってるの、結局はばらばらなのって。さっきの校章と校歌の話もありますけども、実は意味づけすごい曖昧な感じで使い分けられてるなって。都合いいときだけこれは関係がない。だから、その中で1校になっていくって意味合いも含めて、中学校も新たな制服を考えていくという

ちょうどいいタイミングとして、来年の4月にそうやって変えていくなれば意味があることなのかなって。小中一貫校という流れの中で意味があることなのかなと思っ  
て、私は思っています。

(委員)

- ・ありがとうございます。ちなみにこれは、確認なんですけど、中学校の制服の提案は  
あるんですか。この7月8日には。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・一応別になりますので、それはないです。

(委員)

- ・ない。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・はい。

(委員)

- ・中学校でも制服変える予定で、今、動いてますよね、校長先生。

(塩見田島中学校長)

- ・今回というか私が知ってる限りでいうと、もともとこの10年間ぐらいがいろんな中  
学校で変えてきてる時期っていうか。本校も発端でいうと、この一貫校の話とは関係  
なしに、もともと、もう生野区で詰襟、セーラーがうちだけやというようなことで、  
検討していく時期やよねっていうのはもうこれは4、5年前いうかだいぶ前からあっ  
たようです。ほんでその中で、ごめんなさい、年度は私、覚えてないんですけど  
も、いうたら経済性のことであったり使いやすさでブレザータイプにいずれ変えてい  
こうというのがもともとありました。

- ・ただ、中学校としては一貫校の話とはリンクしてない、個別にもともとスタートして  
たので。ただ、そういう話がある中で統合、一貫校っていう話が出てきて、変えるの  
であればこの4月から学年進行で変えるのが自然かなあと。ただ、もともとこのベ  
ースには乗ってないという認識があるので、中学校として学年進行でいまのいろんな  
ニーズに合う形のものをというふうに考えています。

(委員)

- ・ですね。だから、変わると思ってたので。何の話してたんかな。ごめんなさいね。  
変わらないていの話になってたから。

(委員)

- ・でも、それはここには乗ってこないの、言ってくるはなかった。中の話ね。

(委員)

- ・ああ、要はお金を出すか出さないかっていうところの話？

(委員)

- ・中がそうやってなるっていう話がここには乗っかってきてなくて、こないだ制服部会とかの中で、小の話プラス中学校のそうやって今変える、今までのずっと流れがあり変えていこうかなっていう時期で、去年やっぱりアンケート取ったりして子どもにも聞いたりPTAの方々といろんな話合いがあって、やっば変えていこうかなっていうようなちょうどいいタイミングもあるなっていう中で、じゃあせっかく、せっかくというかそういう。小中一貫校にもなるし、それなら貸与してもらえたらなっていうお願いをこちらのほうはしてたので、そのそういう流れですかね。だから、この制服の今の流れの中では、中の話はしてきてはないです。

(委員)

- ・でも、前の校長先生はあれですよ。そういう季節の変わり目なんかのバリエーションが少ないから、詰め襟、セーラーじゃなくて何か違うものに変えていただけたらなっていう話もしてはりました。

(委員)

- ・検討会議の中で藤本校長も去年からおっしゃってくださってたことが、具体化して、本年度動き出して、役員の皆さんの方とか、校長先生たちと変えていこうっていうことに正式になっていってる流れの中。

(委員)

- ・あれですね、こないだPTAの実行委員で話した中では、小学校の制服が要は決まってない状況なので、それが決まらないことには中学校もちょっと動きづらいなという話で止まってますもんね、今。なので、ここが早く決まらんことには中学校も動けないというような状況ですね。

(塩見田島中学校長)

- ・中学校のものとここの話と一体ではないっていうか、中学校独自で考えていかなあかんねんけれども、ただあまりにもかけ離れてるデザインとか、同じ施設一体型の中で過ごすし、もっと極端に言えば、例えばもう6年生の残り数か月で変えたいっていうときに中学校になったら急に緑色のブレザーやっていうのは、これまたいろんな意味で障壁になるやろうから、だからここが決まればそれと自然の流れで何となく一体感のあるデザインで学年進行で変えていきたいし、経済的な負担とか。例えば、中のポロシャツなんかは、もう別に小も中も高学年ぐらいから9年生ぐらいまでやったらある程度もう同じものが着て過ごせる、6年生で買うたものが、そのまま7年生でも8年生でも着れるような、そういう経済的なロスが出ないとか、そういうところで中学校としては保護者負担とか統一感とかそういうことで、スタートというか決めていこうというふうに、今考えています。

(委員)

- ・そうですね。

(塩見田島中学校長)

- ・はい、考えています。

(委員)

- ・ありがとうございます。とすると、まずは今回小学生の制服をまず提案してもらわないと、中学校のデザインに派生していかないと考えたほうがいいんですかね。

(委員)

- ・そういうふうで止まってるっていうので、会議でこないだ止まったんで、はい。だから、早く決まればいいなど。

(委員)

- ・でも、大体の部分は小も制服部会のほうでできてますので、いろいろ中のほうから、中の中で話し合いはしていただきながら、こっちも待つにしても小と同じものってということではなく、中は中で、やけど同じような傾向でっていう中で、中はまた中でかわいらしい格好も結構ありますし、ブレザーっていう大きな流れの中で考えていただきたいと思うんですけど、それはまた別の話ではあるんですけど。
- ・ただ、貸与がないっていうことについて、ここで今、話が出て、はっきり言っているも結局検討して、できません。全部そうなんですけど、ほんと全部そうなんですけど、今回は検討会議ニュースにも載せていただいたっていうことで、検討しております、貸与について中学生の制服も言っていただいて、いろんな方からもそういう貸与とかあるのかなあって、中学校の制服も変わる流れとかでそんなのも書いてあったなって、結構お声もいただいたりして、ああ、そうやって
- ・おしゃっていただいているっていうのは、ほんとに前向きな方向で小中一貫校になるってことを考えて、いい機会やとして捉えてくださってる部分が、あるのかなと思ったけど、やっぱりまた無理ですっていう。
- ・前例を超えて考えていただきたい。前例を照らし合わせたら関係がないって言われるのは分かっているんですけども、でも小中一貫校になるっていう流れの中でってことで考えていただきたいなと思っていたので、またこれもやっぱり変わらないのかと。あそこにわざわざ上げていただいて、検討会議ニュースにも出たのでちょっと思っていました、はい、それもまたないんだなって。今回、お金出していただけないっていいですか、なんだなっていう感じで。

(委員)

- ・質問なんですけど、これ例えば中学校で制服変更するってなったらこれは無償貸与になるんですよね。買いますか？買ってもらうんですか？
- (三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)
- ・先ほども説明ありましたように入学時に買っていただく。

(委員)

- ・ ああ、それで順に変わっていく。

(委員)

- ・ それをこう、順に変わっていくっていう形になるんです。

(委員)

- ・ 貸与はないと思います。変わらない学年があって、新しいのから移行していただく。

(委員)

- ・ 中学生と小学生の選ぶポイントとあって、この辺も違うとは思うんでね。例えば、この小学生の制服をもちろん連続性というか、またある程度の統一性っていうのがやっぱりその次の3年生にも、中学生の制服にも求められると思うんで、これ一緒に提案してもらってというのはできるんですか？

(委員)

- ・ あと、もう一個聞きたいのは、生野未来学園は1から9になったので中学生っていう区切りもないんですよね。そこはどうか。中学生はまた新たなほうになるんですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ えっとですね、義務教育学校という形になりますので、中学校が廃校されると。廃校されて生野未来学園という一つの学校になりますということなので、制服も全部変わるという形になるので、こちらのほうは貸与対象という形になると聞いております。

(委員)

- ・ 一つのデザインの1から9までのいろんなサイズのものができると。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・ そうですね、はい。

(委員)

- ・ すごく残念だなと思って、考えていただける何か一步だったのかなって、私たちが選んで視察してて一体型にされたとか、義務教育、小中一貫校にされたのか、私らは何も関係はないんですけれども、何かいろんなことの中でそうやって、私たちは1校になっていくってことを意識して選んだり、校歌のことも校章も今考えました。でも、ここでは関係がある、ここでは関係がないってことで、結構そうやって何も聞いていただけないことが多くて、検討したけどできませんっていう説明を聞くだけの場がずっと続いて、検討して何かちょっとでも変わっていくみたいな場がほんとになかなかないので、ずっとこれもきつとそうかなと思いつつながら、ニュースに上がったから期待はしてたんですが、残念やなと思ってます。

(委員)

- ・ありがとうございます。ほか、ご意見ございますか。
- ・もし、中学生まで学年通してお考えになるのであれば、小学生の制服と一体で業者に提案さしてもいいかなとは思って、そういうのもまず半歩だけのことですけれども、ご提案できないか言ってほしいなと思います。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・既に公募をして、それに応じてもらうところっていう業者がいてるので、それに合わせてこれっていうのは難しいのかなとは思ってます。

(委員)

- ・逆に、こちらのそういうプレゼンテーションを実施してアンケートを行うっていうところで、その判断項目になるわけですか。中学生とも連動したデザインが用意できるという。そこはひとつ、逆にそういった説明とか提案とかはあってもいいんじゃないかなと思いますけど。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そこはやっぱり学校のほうとのがありますんでね、うちのほうがどうこうしますっていうのはなかなか言いづらいとこなんですけどね。

(委員)

- ・これ、塩見校長先生、ご提案してもらったら参考になります？ この時点で。

(塩見田島中学校長)

- ・うちはまだ今からだいぶ決めていくので、様々なことは判断材料にはさしてもらいます。

(委員)

- ・そういった判断の何か材料になればと思いますんで、このまま小学生のデザインにするんやったら、中学生やったらこうだと、というのがもしあれば御提案いただきたいなと思います。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。その業者とのつなぎの部分は事務局のほうでやることは可能やとは思いますが。

## 【報告 田島南小中一貫校の教育について】

### (1) 行政からの説明

(説明者：樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

(報告資料3に沿って説明)

- ・本日は、報告さしていただく田島南小中一貫校の教育。この内容は、3校の校長先生

をはじめ地区の皆さんと検討してきたことを踏まえまして作成したものです。

- ・ 8月末に保護者に配付される学校案内に掲載される内容を踏まえたものでございます。これまでいただいたお声の中で、多くいただいた声をもとに問答形式で作成をさせていただきましたのでよろしくお願いいたします。
- ・ 田島南小中一貫校は、学校、保護者、地域が9年間を一体と捉えて、未来を生き抜く力を養うことを目指します。
- ・ スローガンです。I'll get my dream. We'll support your dream. つかめ自分の夢、支えよう、みんなの夢ってということで。これまで、この3つの学校が大事にしてきたもの、これを継承して新しい学校に進化させていきます。
- ・ 言語力を根幹に、性生教育、またキャリア教育を展開していく中で、9年間で展開していく中で生きる力を育ていく、生き抜く力を育ていく、それはどういうことなのだったということを検討させていただきました。様々なご意見をいただく中で、様々な学習、指導、支援をしていく中で、子どもたちの自主性、学ぶ力をしっかりと引き出していく。それを小学校1年生からずっと重ねていきまして、中学校3年生段階においては児童の進路を見つめ、また生きていく、生き抜く力というものを育ていこうということでこういう形にまとめさせていただいております。
- ・ 学校行事、これ小学校と中学校をこう並べてますけれども、色つけた部分においては同じタイミングで行って、保護者の中には小学校、中学校にお子さんをお持ちの方もいらっしゃると思いますので、そのあたり同じタイミングで行うことによって両方とも出るということで、していきたいと考えております。行事を見ていただいたら分かりますように、概ね大きく何か変えて行うということではなくて、これまでを踏襲してやっていく予定でございます。
- ・ 支援が必要な子の引き継ぎは大丈夫なの？というふうなこと。スライド番号12番ですけれども。しっかりとそのあたり、一人一人とですね、一人一人の今支援の状況ですね、学校にそれぞれ出向いて確認をし合いながら新校においても引き継いでいくということでございます。
- ・ 学校が狭くなる、小学校1年生から中学校3年生まで生活するの大丈夫？ということで、このあたりは様々な工夫をして安全な環境を整えていきますし、また子どもたちにも考えてもらいながら、一緒になってこの辺、安全対策をしていかないと、なかなか安全な学校づくりっていうのは進んでいかないかなと思っておりますので、両面にわたって、要するに子どもたちへの指導、学校の工夫、様々なルール、そういったものを絡み合わせながら行っていきますよということです。

## (2) ご意見等の概要

(特に意見等なし)

## 【報告 その他】

(1) 行政からの説明

(説明者：大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

(いきいき活動後の児童の引率について)

- ・児童いきいき放課後事業。これにつきましては、再編後の新しい小学校、田島南小学校で行われることになっていきます
- ・保護者の方がいきいきで17時を越える場合、保護者の方がお迎えにいかないといけないということになります。
- ・これまで意見いただきましたのが、学校の場所が変わることによってお迎えに行くのがちょっと負担になる。間に合わないといったご意見というのが、これ、色んなところでいただいてまいりました。
- ・今回やろうとしますが、17時から18時までの保護者の方がお迎えにいかないといけないという部分に関して、いきいきに登録いただいている中でご希望がある方については17時までにもと小学校まで児童を引率するという事業。委託事業として区役所の方で検討を進めているところです。ですので、17時までにはその委託事業者がもと小学校まで移動して行って17時から18時までもと小学校でお預かりすると。そこで保護者の方に引き渡すという形になっていきます。
- ・連れ帰り事業だけじゃなくて、17時までにも小学校連れ帰るまでの間、下校時間帯の校区内の見守り活動、これもそれを委託事業者にやっていただくというふうに思っております。

(学校選択制と在校生の特例について)

- ・来年4月から、4月の新入学生からは西部地域も学校選択制を適用する区内全域の小学校中学校を対象ということになりました。
- ・学校再編のタイミングで在校生についても通学距離とかを考えた上で学校選択できるようにしてほしいといったご意見。これを頂戴してきたところではございます。
- ・こういったご意見を踏まえまして、特例といたしまして令和4年4月、来年4月の学校再編のタイミングに限って、生野区内の児童が、具体的には現在の1年生から5年生が来年2年生から6年生になることとなりますけども、その子ども達については新たに開校することになります、この田島南小学校。で、後、大池小学校、生野未来学園、これを希望できるようにしてまいります。
- ・また、今の現在の中学1年生2年生については生野未来学園を希望するということができるようにもしてまいります。

先程の学校選択制もそうですけども、今、私が申し上げました在校生の特例、これにつきましては受け入れ可の人数の枠がございまして。どうしても枠を超える希望があった場合は抽選になりますけども、そういったことも含めて、この学校選択制と今、申し上げました在校生の特例。これについては8月下旬から9月頃に案内の方をさせて

いただく。

## (2) ご意見等の概要

(委員)

- ・学校選択制の問題については、これは在校生にもいけるようになったみたいな話が加わったようにも思うんですけど、果たしてでも本当に門戸がそれだけ開いて、でも結局、限定された数しか入れない。
- ・希望した場合ってことになれば結局前と一緒に新入生に対してあったものやと思うんですけど、校区を越えて来るって子ども達にどれだけのケアができるのかって部分もそうですし。こうやって学校が統合されていく中で、通学路の問題等でそうやって学校選べるっていうことでその問題がクリアされたかのように見えますけれども、果たしてどれだけの子どもがその中で、学校選択制ってものになったからって自由に本当に選んでいけるのかって問題については、全然保護者の中では全然どんな感じになるんやろうかっていうことが解らないです。結局入れてもらえないんやろうなっていうような話も聞きますし、優先順位も解りませんし、抽選っていうのもよく解らないです。だからもうちょっとなんか夢みたいになっていうか、凄い色んなこと選べるんだよって言われる反面、凄い色んな限定されたものもあるから、ちゃんとその辺はええとこ取りにみたいに言わずに伝えてもらって保護者も本当に考えて、本当にそうなるのかどうかっていうことも含めて、その辺はさっきの話にもうちょっと、もっとちゃんと付けてもらわないとなってしまう気はします。そんないいことばかりじゃないんじゃないっていうところも話を聞きますので。

(大川生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・はい、今、仰っていただいた通り。例えば学校選択制をこれまで東が入っています。で、今後、西部地域も入ってきますけども、学校選択制で、他の学校を選ぶ場合は登下校の安全については保護者責任ということに明確になっています。そういった点ですとか、希望された方全員が確実に入れるわけじゃないといった観点、この辺についてはきっちりと学校案内をお配りすること。その後、それぞれまた説明会がございまずので、そういった中できっちりリスクじゃないですけども、そういった点も説明していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

## 6 主な確認事項

- ・座長の委員解嘱に伴い、座長を変更する。
- ・校章決定のスケジュールについて、7月上旬～中旬に各小学校・中学校を対象にアンケートを行う。実施したアンケートを7月下旬に回収し、8月中旬にアンケート結果を参考に意見交換を行い、校章を決定する。
- ・児童生徒への校章アンケートについては、No.4、No.38とNo.98と合わせたもの、No.82、No.105、No.116、No.126、No.127の7案でアンケートを行う。

- ・ No.4、No.38 とNo.98 と合わせたもの、No.82、No.105 については、学校で清書しアンケート案を事前に各委員に送付する。
- ・ 清書する際、No.4 及びNo.38 とNo.98 と合わせたものの文字は「田島南」に変更する。
- ・ 校歌について、各委員より小学生に合った歌詞のフレーズを6月末までに考えてもらい、事務局で歌詞案を作成する。
- ・ 歌詞案を参考に、田島中学校校歌の曲を活用するかどうかを検討する。
- ・ 6月15日に実施した第3回学校環境等専門部会（学校見学）について、見学の際にいただいた意見等について、次回の専門部会で意見交換を行う。

## 7 会議資料

- ・ 議事資料 1 田島南小学校 校章案
- ・ 別紙 1-1 児童・生徒案
- ・ 別紙 1-2 学校案
- ・ 別紙 1-3 行政案
- ・ 参考資料 1 校章案 事前アンケート結果
- ・ 参考資料 2 児童・生徒案（カテゴリ一別）
- ・ 参考資料 3 児童・生徒向け校章アンケート案
- ・ 議事資料 2 校歌決定に向けた進め方（案）
- ・ 参考資料 4 田島中学校校歌の詳細
- ・ 参考資料 5 現行の小中三校の校歌
- ・ 報告資料 1 第3回環境等専門部会（学校見学）
- ・ 報告資料 2 標準服等製造・販売事業者選定に向けた進め方
- ・ 参考資料 6 新しい標準服などのアンケート
- ・ 報告資料 3 田島南小中一貫校の教育

（※）田島小学校校章のシンボルについて、検討会議の中では「菱」と発言しておりますが、過去の資料により「おもだか」と判明しましたので訂正いたします。